

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

「専科一期校友会HPバ
ジョンへの移行
検討会」ホームページ委員（4月15日開催）

出席者 天谷範夫、岡村昭則、田中 忠
3Fのパソコン教室を使って午前中は19期の
校友会バジョン移行検討会が行われ、午後から
専科校友会の検討会が開かれました。検討会の進
め方としては、4月2日の検討会でのまとめた資料
を配布して、その確認と先輩が作成してくれた専
科校友会HPのイメージの内容を詰めました。確
認事項は次のとおりです。

イントロ表紙は昨年の様式を引継いで使用す
ること。

リンクするボタンは8個で案のとおりとする
こと。

アーカイブボタンは「思い出の学園生活」と
して表示すること。

22年度活動計画の中身としての校友会予算
は外すこと。

各コース活動

健康づくり＝手話ダンスクラブのご案内・会
則等を掲載。それをメインにして行事計画や
報告を掲載していく。

郷土を知る＝ウォーキングサークル・俳句コ

メクラブを中心に掲載していく原案のとおり。
まちづくり＝俳句クラブを中心に掲載してい
く。原案のとおり。

各クラブ活動は専科立上げクラブ・伊奈蓮校友
会クラブの順で紹介していく。

専科立上げクラブ＝パソコンクラブ・太極拳
クラブ・卓球クラブ・陶芸クラブ 4クラブ

伊奈蓮校友会クラブ＝墨彩クラブ、朗読クラ
ブ、グラウンドゴルフ、囲碁クラブ 4クラブ

ミニ広報紙については、理事会の報告等も一齊
にメールで流していくこと。

イナ・ヴォイス委員とホームページ委員は校友
会役員表とは別に掲載する

以上のことをまとめました。これをキチン
と整理してHPページ掲載原案を作り、先輩と相
談することになりました。

ホームページ・伊奈いきがいネット
クラブ編集委員会（4月21日開催）

出席者 岡村 昭則

伊奈学園の在校生及びOBの各期校友会のホ
ムページは、昨年四月より伊奈いきがいネットク
ラブがサーバーの維持管理をしています。私も初
めて専科代表として編集委員会に出席しました。
九日に開かれたネットクラブの理事会報告では、
昨年設立したネットクラブの規約の見直しの検討
や、IINC（伊奈いきがいネットクラブ）のサ
イト立ち上げている等が報告されました。

田中健委員よりこの一ヶ月間にホームページに
掲載した件数やタイトルが報告されました。また、
「いきがいコラム」の「ちょっと気になる健康」
を作成している方より削除の申し出があつたこ
とも報告されました。

22日に実施されるホームページ新しいURL
への移行について担当者の発表がありました。

専科校友会ホームページ委員会としては、二年
課程と違って、ベースになる時間も短いのでホ
ムページを簡略化する方向で検討し、次の結論に
至っていることを報告しました。

イントロ表紙は昨年の様式を引継いで使用す
ること。

リンクするボタンは8個とすること。

また、情報はメール配信で行うので、個人情
報保護のためメーリングを利用する旨を報告。



ホームページ・新しいURLへの移行 説明会 (4月22日開催)

出席者 岡村昭則、田中 忠

ホームページ委員は、在学生及び卒業生の各期自治会や校友会の活動情報を収集・整理して、それぞれのホームページに掲載しています。ホームページを通してシニア世代の皆様には「いきがい大学伊奈学園」の活動情報を発信することがホームページ委員の任務です。このため入学後、自治会立上げと同時にホームページ委員も選出され、自治会ホームページ作成に携わってきました。

最初は先輩がホームページを立上げてくれましたが、その後は自分達の手で管理しなければならず、それに向けて一日六時間の講習を五日間ほど受講し、専科には経験者もないことから更に二日間補講を開いていただきました。

卒業後、**独り立ちしてホームページ維持・管理をするには、更に時間を要するのが専科の実情で、**今年一年をかけて立上げてくれた先輩と毎月打ち合わせを開くことになって逐次実施しています。

昨年からは学園ホームページのサーバー管理主体が学園から「伊奈いきがいネットクラブ」に移管されたため、同サーバーを使って開設していた個人ホームページのURL(アドレス)が新しいものに変更することになり、専科として4名のホームページ委員が参加しました。今日の講習会で一連のホームページ講習会は終了しました。

ホームページ | 思い出の学園生活 | クラブ活動 | 専科第1期ホームページ委員 | 専科第1期イナ・ヴォイス委員
みんなの広場

学園HP

いきがい大学伊奈学園一年制課程(専科コース)

いきがい大学第一期専科コース校友会のサイトへようこそ

いきがい大学伊奈学園専科コースの学生は、平成22年3月15日に卒業しました。今後は、学園での学習成果を活かし、地域に社会に活動の場でお目にかかることを楽しみにしております。今後もご指導よろしく願いいたします。

なお、専科コースのホームページは「専科1期の校友会」ページとして、引き続きみなさまへの情報発信をしてゆきますので、在学中同様よろしくお願いいたします。

● H22.3.15ホームページ委員一同

いきがい大学伊奈学園専科コースは、平成21年度から開設された一年制課程コースで、従来の一年制課程よりも、より実践的な学習につとめ、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして、活躍することを目的としています。

わたくし達は、専科コースの学生として、①学習 ②学生自治会活動 ③クラブ活動の3つを通して、いきがいと活動の喜び、仲間づくり、そして学習の成果をこのページに掲載してゆきます。

高齢化社会にあって、元気に活動するわたくし達を、レポートしてゆきますので、おたのしみに！

いきがい大学伊奈学園は、在校中に組織されたホームページ委員によって各期のホームページが維持管理され、在校生はもとより卒業生や外部の方々からも閲覧されており、校友会、学園情報、同期の集いやイベント情報、クラブ活動やボランティア活動の情報など、手軽に確実な最新情報を入手できることから大勢の方々がホームページを訪問しています。

このホームページに掲載する最新情報の収集・更新は各期のホームページ委員が担っています。それ故に在校生及び卒業生の情報が欠かせませんので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

専科のホームページ・アドレス <http://www.olff.net/ina-senka01/>

伊奈いきがいネットクラブ・アドレス <http://www.olff.net/IINC/>

番外編 寄居北條祭り

ウォーキングサークル

4月11日(日)熊谷駅改札口に5名が集合。車中で1名合流して寄居駅へ。駅を出てすぐ前に甲冑鎧姿のグループが歩いている。聞けば会場に向かうとのことなので、我々も後をついて、鉢形城公園へ。会場ではすでに、アトラクションの太鼓や、舞踊などが始まっています。いくつかのアトラクションの後、いよいよ出陣式。色彩豊かな姿のグループが次から次へと入場してきます。場内放送で聴いていると、地区、職場などごとに結成されているようです。幼稚園児のグループも出ていました。陽射しも強くなり少々暑い感じ。我々はこので鉢形城歴史館へ。近くに見えましたがそこはやはり元々城、堀が有り結局大回りして入り口に到着。模型の城全景がメインの展示です。昼食のため駅方面に戻るつもりもまたもや掘割で迷う。河川敷での時代絵巻の合戦や大砲音の祭りを満喫して少し早目に会場を後にしました。

寄居町で毎年4月に行われている北條まつりは、1590年(天正18年)豊臣秀吉の小田原征伐の際に、前田利家、上杉景勝率いる豊臣軍と、鉢形城に陣取った郷土の武将北条氏邦の戦いを再現する歴史絵巻です。5万人の豊臣勢を相手に、わずか3500人の兵力で1ヶ月余り

攻防戦を続け、最後に城兵の助命を条件に開城しました降伏し開城するという戦いでした。

鉢形城址は、戦国時代の代表的な城郭跡として、昭和7年に国指定史跡となりました。指定面積は約24万m²です。城の中心部は、荒川と深沢川に挟まれた断崖絶壁の上に築かれていて、天然の要害をなしています。この地は、交通の要所に当たり、上州や信州方面を望む重要な地点でした。

鉢形城は、文明8年(1476)関東管領であった山内上杉氏の家宰長尾景春が築城したと伝えられています。後にこの地域の豪族藤田康邦に入婿した、小田原の北条氏康の四男氏邦が整備拡張し、現在の大きさとなりました。

関東地方において有数の規模を誇る鉢形城は、北関東支配の拠点として、さらに甲斐・信濃からの侵攻への備えとして重要な役割を担いました。また、鉢形城の周辺には、殿原小路や鍛冶小路などの小路名が伝わっており、小規模ながら初期的な城下町が形成されていたことが窺えます。

天正18年(1590)の豊臣秀吉による小田原攻めの際には、後北条氏の重要な支城として、前田利家・上杉影勝等の北国軍に包囲され、激しい攻防戦を展開しました。1ヶ月余りにおよぶ籠城の後、北条氏邦は、6月14日に至り、城兵の助命を条件に開城しました。(城址内の説明板より)



「伊奈いきがいネットクラブ」
第一回会員総会 (4月28日開催)

出席者 岡村 昭則

「伊奈いきがいネットクラブ」は、昨年四月にオルフネットサービスから運用を委譲されたウェブサーバーを活用することにより、彩の国いきがい大学伊奈学園及び校友会等伊奈学園の関連団体に対して、インターネットサービスに関する事業を行い、もって、公益の推進に寄与することを目的としている団体です。サーバーにアクセスできる校友会ホームページ委員及びイナヴォイス代表・伊奈学園関係者等20名の会員と理事の方々に組織しています。

専科からは健康づくりコースの伊藤さんと私がホームページ委員の代表として出席しました。

「伊奈いきがいネットクラブ」が誕生して一年が経ちましたので、一年間の事業活動報告や会計報告をする初めての総会であることから、お互いに緊張が走りました。河内理事長の挨拶に始まり、次に議題に二項目について順番に議事進行しました。

一、報告事項として、
 ネットクラブ設立経過説明があり、我々もよく理解できました。ここで**私が質問したことは、専科の特殊性を訴えたこと。ホームページ委員に出す委嘱状はどこから出すのかの二点。** 氏家所長から伊奈学園で出す

との回答がありました。
 平成21年度事業報告と決算報告の説明がありました。字句の修正などや、わからない事に対しての質問がでしたが、説明を了解して承認されました。

二、議案として

平成22年度事業計画 平成22年度予算案が提案され、出席者からわからないところの質問に対して、担当理事が説明し、了解されたことから、全てが承認されました。

最後に技術理事の中島康博さんの閉会挨拶で第一回総会は終了しました。

第八十一回中央メーデーに参加しました!
 (四月二十九日)

私は三十年ぶりにメーデーに参加しました。九年前に退職しましたが、三十八年間無事に勤めてこられたのも、職場の仲間があつてこそであり、ボランティアのつもりで職場の退職者会事務局の広報部を一手に引受けて今日に至っています。その退職者会も今年からメーデーに参加することにしました。

というのは、現役時代とは違って退職者に関する年金、医療、介護等の問題は深刻な状況に追い込まれています。これまでもこれらの問題解決に向けて、上部団体はじめ、連合の様々な取組に参加してきましたが、状況はますます悪化の一途を辿

っています。これまではそれらの問題に対する思いを「選挙で一票投票して、少しでも前進させましょう。だから選挙に棄権しないで下さい」と呼びかけることだけしか、やってきませんでした。

一人暮らしの会員の孤独死を切っ掛けに退職者会として会員千人に生活実態についてのアンケート調査を実施したところ、当然のことですが、一番の関心は「健康、年金、医療、介護」等で、不安を抱えていることが明らかになりました。

そこで私達は八十五歳以上の会員に声掛け運動として「電話訪問」を実施し、様々な問題を抱えていることもあつて大変な反響がありました。

次にお祭り気分のメーデーに参加してもらい生活をとり巻く様々な問題に取組んでいる各団体の息吹に触れてもらうため呼びかけたところ三十名が参加しました。写真からその熱気を感じていたければと思います。(岡村昭則)



代々木公園中央メーデー会場